



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2022/08/13

あっさり黙示録

28 中東の激戦区で進むバイブルパワー

「創造主に不可能はない」

黙示録 14 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。



皆さんは“イスラム国”って、まだ記憶にございますか。

ひと頃世界中を震え上がらせた、イスラム原理主義過激派テロリスト集団。単なるテロリスト集団ではない。イラクとシリアにまたがる領域に、自分たちの領土と称して、面として支配地域を得たんです。

そして、支配地域の中にいるクリスチャンやヤジディ教徒の人たちを、情け容赦なく殺して行きました。後藤健二（ごとう けんじ/1967-2015）さんたちも殺されましたね。首を落とされて。

彼らの敵は異教徒だけではありませんでした。同じイスラム教徒でもシーア派や、同じスンニ派であっても自分たちの考えに同意しないなら、銃殺刑・石打ち刑・絞首刑・斬首刑など、非常に残酷な方法で殺害・処刑して来たのです。

今でも彼らのホームページを見ると、月に 100 本くらい動画をアップしています。

衰退したとはいえ、まだ活動してるんです。最近では中東よりも西アフリカで盛んに活動し、そのエリアを広げているようですね。

ところで、イスラム国の戦闘員の中から、イエス・キリストを信じる人たちが起こされていたんです。しかも、現在のように衰退し、組織としての力をかなり失った状態の中で反省してどうのこうの、ではなく、イスラム国が全盛期の 2014 年～2015 年に。

これは何に基いて話しているかというと、『クリスチャントゥデイ』というインターネット新聞の記事です。クリスチャントゥデイの 2015 年 6 月 7 日の記事に、今から話すことが出て来るんです。この記事の関連記事も色々紹介されていて、イスラム圏の中でイエス・キリストを信じる人たちがなぜ起こされて来るのか、非常に興味深い内容が書いてありました。

どのようにして信じるのでしょうか。ひと言で言うと“夢”なのです。

夢の中に白い服を着た人が現れて、「あなたはわたしの民を殺している」と迫って来る。

彼らは、その人物（男性）はイエス・キリストだと認識してるんです。

聖書を読み、生き方を 180 度変え、そして、イエス・キリストを信じると言うんですね。

『殉教者の声 (Voice of the Martyrs/VOM)』。世界に向けて、世界中のクリスチャン迫害の状況に関心を持ってもらうという啓蒙活動をしている団体があります。

ここはラジオ番組を持っていて、『ユース・ウィズ・ア・ミッション (Youth With A Mission/YWAM/ワイワム)』のディレクターやスタッフたちを招きました。

彼らは今（2015 年）中東で起こっていることについてレポートを語ったんですね。

中東の某国のYWAMに、現地の友人から「ある人物を紹介したい」という連絡が入りました。会いに行くと、紹介された人物はイスラム国の現役戦闘員だったのです。彼はたくさんのクリスチャンたちを殺害し、そのことを心底楽しんでいたという とんでもない人物。

ところが夢を見た。夢の中で白い服を着た男が、「あなたはわたしの民を殺害しているのだ。」その夢を見て以来、あんなに楽しんでやっていたクリスチャン殺害が、非常に気分の滅入る仕事になった。それだけでなく、どんどん不安が募るように変わって行った。

ある日クリスチャンを殺そうとした時、処刑寸前のそのクリスチャンが言いました。「あなたが私を殺すことは分かっています。あなたのために、私が使って来た新約聖書を差し上げましょう。」そうして、彼の手によって殺されていきました。しかし彼は、このクリスチャンの私物であった聖書を手に取って読み、イエス・キリストの言葉/御言葉、聖書の記事によってクリスチャンになり、生き方が180度変えられたんですね。

正直、このような話はよく聞くんです。特にイスラム圏のレポートを聞く時に。イスラム教の人たちは夢を非常に重んじます。世界の宗教の中で、夢による啓示・夢から何かを読み取ることを最も重んじるのは、おそらくイスラム教徒だと思います。合理的な考え・西側の考え方で生きている私たちには、にわかに信じられないかもしれません。しかし神は、求める人にはあらゆる方法を用いて語ることがお出来になるのです。なぜこの話をしたかという、今日見る**黙示録 14章**にそのようなことが書いてあるからです。

黙示録 14章には7つの宣言が出て来ます。

1つ目は前回紹介しました。地上再臨したキリストがシオンの山の上に立っている。エルサレムに地上再臨したキリストと、艱難時代をサバイバルした144,000人の信仰の勝利者たちのことが描かれていましたね。

2つ目の宣言は今日見るところです。

6 また私は、もう一人の御使いが中天（ちゅうてん）を飛ぶのを見た。

彼は地に住む人々、すなわち、あらゆる国民（くにたみ）、部族、言語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。

艱難時代後半3年半の初め、反キリストの支配が猛威を振るっている段階で、神が超自然的方法ですべての人々に永遠の福音を伝える。

中天は大空の真ん中。地上から見たら頭の真上のことです。なぜ天使は頭の真上を飛び翔りながら宣べ伝えるのか。



私の家内は奈良県吉野（よしの）の出身です。吉野の山奥は見渡す限り吉野杉だらけ。もう山という山が吉野杉。その山奥で生まれ育ちました。

そういうものに囲まれて空を見上げると、「空が狭い」と言うんですね。そびえ立つ杉の木で大空の大半が遮られてて、「空というのは、上にぽっかり空いた穴のようなものだ」と言うんです。

そして、陽が昇るのが大変遅く、陽が消えるのは大変早い。空が占めている面積が小さいんです。私たちは大空というと広々とした世界をイメージしますが、吉野杉のために小さな空間でしかない。そんな小さな空間の所に住んでいたとしても、頭の真上だけは必ず開いています。その真上のことが中天です。中天は、どんな所に住んでいても見ることができる空間のことです。

そこを御使いが飛んでいました。なぜでしょう。

どんな所に住んでいる人々にも何とかして聞かせたい、そのメッセージを携えていたからなんです。

彼（御使い）はだれに語るのでしょうか。

彼は地に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、言語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。つまり、あらゆる国民に分かる言語で、永遠の福音を携えていた。

永遠の福音の内容は、**7 彼は大声で言った。「神を恐れよ。神に栄光を帰せよ。神のさばきの時が来たからだ。天と地と海と水の源を創造した方を礼拝せよ。」**

神を恐れ、神に栄光を帰し、礼拝せよ。この神は天と地と海と水の源を創造した方。創造主なる神。人間にすぎない反キリストは神じゃない。人が礼拝すべき方は唯一、創造主なる神である。これは人類創世の時から、旧約時代も新約時代も今の時代もずーっと、すべての時代において、すべての人々に求められていることです。自分の造り主を敬うことを、すべての時代を生きたすべての人々に求めておられる。なので、永遠の福音と言うんですね。

永遠の福音は、先ほどお話したように、艱難時代後半に入った時点で宣べ伝えられるんです。

艱難時代後半 3 年半は、反キリストがあらゆる国民を自分の支配下に置こうとする時代。

そして、あらゆる国民に反キリストを神として信仰告白させる。

信仰告白した人は右手か額に 666 の刻印を受ける。666 は反キリストの名前をヘブライ語にして、数字換算したものです。この刻印をひとたび受けてしまったら、二度と後戻りできません。

なので、この刻印を受ける前に、手遅れになる前に、艱難時代後半に生きているすべての人間が聞くことが出来るように、神は超自然的な方法でアプローチしています。

それが御使いによる宣教なんですね。

私たちが今聞いている恵みの福音の宣教は御使いに許されていませんが、艱難時代後半 3 年半、神は超自然的な方法で「神を恐れよ」というメッセージを語るんですね。

144,000 人のユダヤ人から福音を聞くことになると思います。

この超越的なアプローチを見る時に分かるのは、神はすべての人が悔い改めて、真の神様に立ち返って来ることを望んでおられること。神はすべての人を愛して、何としても反キリストの支配下から救済できるように、一人ひとりに届く方法を取ってくださるということです。

今は艱難時代ではなく、恵みの時・救いの日です。

創造主を真実に誠実に知りたいと願い求めているならば、神は必ず応えてくださる。

なぜなら、艱難時代ですら、神は非常手段を用いてでも人を救いに導きたいと願い、そのアクションを起こしてくださる方だから。まして恵みの時代、神があなたに冷淡であるはずがないのです。

ところで、ごうちゃんねるのコメント、私は基本的に全部目を通しています。
最近、統一教会の現役信者の方が、このチャンネルをご覧になっていることが分かります。
その方々のコメントが 2-3、非常に大きな決心をしてコメントを入れてくださった方もいます。

それで私は申し上げたいんですね。今まで統一教会の先兵として、色んな方々に靈感商法で根拠のない物売りつけて来た人たちを、キリストはどう思っておられるのか。
神は、そのような行為そのものを憎んでおられると思います。
しかし、そんな行為をしてしまった人たちのことを、キリストはどう思っているのでしょうか。
愛しています。心配しています。そして、導きたいと思っています。

したことは憎んでいるでしょう。しかし、した人は憐みの対象です。救済の対象です。
神はその方々を諦めておられません。なので、あなたも救いの対象なのだと、ぜひ覚えていただきたいのです。

神はイスラム国の戦闘員にさえ語りかけて、心の向きを 180 度変えてしまうことができるのです。
そして最終的に、救いに導くことができるのです。
間違った教えに巻き込まれ翻弄され、純粋にそのことを行っている人であっても、組織のためにとか組織を求めるのではなく、真実に創造主を求めるなら、神はチャンスを与えてくださいます。

そしてぜひお勧めしたいのは、原理講論ではなく聖書そのものを読んでいただくことです。
ほとんどの統一教会の皆さんにとって聖書は飾りでしょ。読んでないと思いますよ。
原理講論ばかり学んでいるのではありませんか。原理講論ではなく、聖書に直に当たっていただきたい。文鮮明が(1920-2012)がどう言ったかではなく、創造主は聖書で何と語っているのか。
原理講論のように、聖書の教えと東洋思想を混ぜこぜにしているメッセージは、旧約・新約のどこにも出て来ません。

虚心坦懐(きょしん たんかい)に聖書に触れていただき、このような番組を参考にさせていただくなら、神様は必ずあなたに答えてくださると信じています。
私が知っている元統一教会の会員たちはみな純粋な方々です。この方々が真の神様に立ち返り、イエス・キリストを信じてからの信仰生活のなんと気持ちの良いこと。なんとピュアでまっすぐで、誠意がこもっていることか。私はその歩みを見て、教えられることがたくさんあります。

聖書のメッセージは、“人生はどこからでもやり直しができる”ということです。
神は敗者復活の神です。チャンスがあります。
ぜひイエス・キリストを信じ、新しい人生を受け取ってください。心からお勧めします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた お目にかかりましょう。さよなら！

第一デモテ 2 章 4 節

神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。